

学校運営協議会（定時制部会）議事録

校名	大阪府立西野田工科高等学校
准校長名	高橋 道生

開催日時	令和7年10月20日(月) 18:30~20:30
開催場所	大阪府立西野田工科高等学校 小会議室
出席者（委員） ※敬称略	丹羽 登（関西学院大学教授）、杉本 三六（後援会会長）、小山謙一（神戸大学キャリアカウンセラー）、本田絵美（地域 婦人会）、平井佳子（本校 前SSW）
出席者（学校）	高橋 道生（准校長）、朝川 裕之（教頭）、二子石 知恵（主査）、中路 裕介（首席・生徒支援部長）、川上 裕也（教務部長）、島内 健（進路指導主事） 川上 裕也（記録担当）
傍聴者	0名
協議資料	・第1回授業アンケート結果 ・令和8年度教科書選定一覧表 ・本校の状況と課題

議題等（次第順）
<ol style="list-style-type: none"> 1 会長あいさつ 2 准校長あいさつ 3 第1回授業アンケート結果について 4 教科書選定について 5 学校の取組み報告（各部より報告） 6 教育活動の進捗状況（准校長より） 7 これまでの学校の様子（准校長より） 8 まとめ
協議内容・承認事項等（意見の概要）
<p>① 第1回授業アンケート結果について（教頭） アンケートの分析結果を見ると「生徒意識1, 2」の項目の数値が年々上昇している。今年度は生徒からのマイナス面のコメントはなく、逆にプラス面でのコメントが多かった。 【会長】棒グラフの「よくあてはまる」の数値を比較したら、R6年よりR7年の方が上がっていることが良く分かる。</p> <p>② 教科書選定について（教頭） 【会長】今年度も生徒の実態に即した選定を行っていただいている。 【委員】選定教科書のリストのうち「書」は書道のことか。 【会長】高等学校で芸術は「音楽・美術・書道」の中から選択することとなっている。 【教頭】本校は書道を選択している。生徒は真面目に取り組んでおり、先日の秋季発表大会に授業中に作成した作品を出品し、入賞した生徒もいる。</p> <p>③各部より（部主任から） 【教 務】 ・次年度は3, 4年生のみになるので、年間行事予定の精査が必要。</p>

【生徒支援】

- ・比較的落ち着いた生徒層で懲戒等もなく、遅刻、早退も少ない。校外学習出席率も 100% である。
- ・11月の芸術鑑賞は落語鑑賞、12月にはボウリング大会を実施予定。
- ・支援会議は、今年度から月に1回SCとSSWが来校したときに合わせて実施。

【進路】

- ・卒業予定者2名である。現在、内定1名。もう1名も就職活動中。
- ・今年度の指定校求人としては建築関係やインフラ系が多いのが特徴。
- ・キャリアガイダンス等を充実させ、業種を変えて企業見学を行いながら、生徒のキャリアについて考えさせる機会を設けている。

【委員】 現在3年生の進路希望については、どのような状況か。

【進路主事】 基本的に就職希望者が多いが、まだ明確にどんな仕事に就きたいかが決まっていない生徒が多い。逆に決まっている生徒については今年の夏休みに企業見学（能勢電鉄・きんでん学園）へ行くなど、行動を起こしている。

【准校長】 大学でのキャリア教育の現状はどのような感じか。

【委員】 自己PRを作成する時に生成AIを利用する生徒がいる。ただ味気のない文章になってしまうので、さらに指導が必要なことが多い。近年、エントリーシート等を書くときに自分のことをうまく表現できない学生も多く、生成AIに聞いてみてはという指導をするキャリアコーディネータもいる。

【会長】 大学では生成AIを使うことを前提とした動きをしている。やはりデータのミスが多いのが生成AIの難点なので、講義等では生成AIが作ったものと実際のデータとの差異が分かるように工夫して伝えることもある。

【委員】 今の生徒は、色々体験したうえで就職できるのでうらやましい。私たちのころはここに行けとすべて決められていた気がする

④ 学校経営計画（准校長）

- ・「わかる授業」として毎年数値は良くなっている。本時の目標と振り返りを毎授業行うよう全体共有している。また、教育課程協議会より、逆向き設計の授業についての共有も行った。
- ・支援体制では、SC、SSWを交えて、月に1回の支援会議（ケース会議）を設定している。個別の教育支援計画のブラッシュアップを行い、成績会議後に全体共有を行っている。
- ・人権、多様性の尊重として、使用する言葉についての意識を全体共有した。
- ・再編整備に向けた動きとして、移設廃棄のスケジュールを提示、9月に府へ予算要求済み。

【会長】・再編整備に向けた費用は、やはりかなりのお金が掛かりそう。

【准校長】 全定合わせての予算要求である。工業高校なので機械の移設と古い機械や通常の備品の廃棄、また同窓会関係で記念碑の移設、記念室の工事等が要求費用に含まれている。

【会長】 私学高校では、閉校になると管理替えができる引継ぎ校がなく、卒業証書等の発行等がとても困る。その分、やはり公立高校だときちんと引き継げる先があるので安心感がある。

⑤ 学校の様子について（准校長）

夏季休業中に陸上競技部から2名の生徒が全国大会出場。その内1名が円盤投げで優勝し、2連覇を達成した。後日、大阪府の水野教育長に優勝報告を行った。

また、今年度は第2種電気工事士に挑戦している生徒があり、現在授業前に登校し準備をしている。

次回会議日程

日時	令和8年2月5or6日（）18:30～
場所	大阪府立西野田工科高等学校 小会議室

